

樋田璋左右

ほつた  
たまたう

國史學者。

明治四年九月八日讃岐國丸龜生れ、昭

和二十二年二月二十一日歿（一八七一—一九五八）。號右京子、雨岫。第一高

等學校を經く、明治二十一年東京帝國大學文學部國史學科卒。同年

喜田真吉等と日本歴史地理學會を創設。もろに在學中『西讃府志』（明

治二十一年刊）を編纂、爾後名古屋、群馬、横濱、丸龜等の地方史

編纂に従事した斯界の第一人者。茶道にも通じた。

編著の『東洋歴史辭典』（青木武助・深澤鑣吉共著、明治二十八年六

月二十日吉川弘文館）、『井上通女全集』（井上通女遺徳表彰會編、

明治四十年八月十五日吉川弘文館）、『名古屋史要』（名古屋市編、

再版・明治四十三年四月二十八日愛知・名古屋市役所）、『大郎庵這

遠茶會記』（大正五年四月二十一日愛知・太郎庵百五追遠會）等。筆

井宅平著『樋田先生を憶う』（昭和四十年十一月二十一日香川・鎌田

共済会郷土博物館）がある。

